

部会で出された主なご意見と当日の回答(令和7年度第2回)

⑥

番号	意見	当日の回答	担当課
福祉部会			
1	<p>【シャドウワークについて】 シャドウワークについてはこれまではあまり聞いたことがなかったけれど、昨年から5、6回聞いている。ケアマネも包括も負担が大きい。少し前に包括の職員が次々に変わったことがあった。大変な事態というのはそういう時に起こるもの。負担の軽減が必要だと思う。</p>	(ご意見のみで回答なし)	保健福祉課 (福祉)
2	<p>【運営方針の評価指数について】 運営方針の評価指数が、高齢者や障がい者の虐待通報件数ならば、令和6年度が6,800件あり、次年度の評価指数を7,000件に上げることに違和感がある。</p>	<p>評価指数7,000件は、見守りコーディネーターへの相談件数である。見守りコーディネーターは各地域に1人ずつおられ、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方の相談を受ける役割。 一方、虐待通報は地域包括支援センターや障がい者基幹相談支援センター、警察や区役所が受けることになるため、見守りコーディネーターが受ける相談とは別のものである。通報は高齢者が令和7年度は65件、障がい者虐待は25件あり、増加傾向かつ複雑化・長期化する傾向にある。</p>	
3	<p>【高齢者・障がい者の虐待通報先について】 こどもの虐待ならこども相談センターがあり、対応してくれるが、高齢者虐待や障がい者虐待に対しては、そのような機関はあるのか。</p>	<p>おっしゃる通り、児童にはこども相談センターがあるが、高齢者・障がい者については、区役所ですべての対応を行うことになっており、主に対応にあたる区役所担当者は1名である。高齢者については、地域包括支援センター、障がい者については、障がい者基幹相談センターと協働して対応している。</p>	
4	<p>【見守りコーディネーターについて】 見守りコーディネーターへの相談は重たい相談だけではなく、スマホの使い方といった小さな相談や困りごとなどで、相談が増えるということは支え合うことができていると考えており、その中から重要な相談につながることもある。多種多様な相談を受けることで、地域の方は安心して暮らせることができ、地域福祉の推進につながっている。</p>	(ご意見のみで回答なし)	
5	<p>【虐待の通報件数について】 虐待通報が増えることが良くない状況ではなく、通報が増えて把握することで虐待を減らすことが重要で、通報を減らすことは、隠されたり見えなくなってしまうこともある。通報が1件入ると区役所さんは大変だが、事実関係を調査していただいて、虐待なしとの判断となればそれが一番良い。その繰り返して、実際の虐待数が減っていけば良い。</p>	(ご意見のみで回答なし)	

部会で出された主なご意見と当日の回答(令和7年度第2回)

⑥

番号	意見	当日の回答	担当課
安心安全・まちづくり部会			
1	<p>【防災訓練について】 港区は海拔が比較的low、海面よりおよそ1メートルほどしか高くない。ここ数年、大きな地震は発生していないが、地震や津波はいつでも起こり得る。そのため、防災訓練は非常に重要。小学校では防災訓練が頻繁に実施されているが、区民全体の防災意識向上のため、以下について伺う。</p> <p>①在宅している人は、どのような形で防災訓練に参加することができるのか。 ②夜間に実施される防災訓練はあるのか。 ③オンラインによる防災講座や防災訓練の実施状況はいかがか。 ④区民全体の防災訓練への参加率はどの程度なのか。 ⑤参加率向上のための具体的な取組や今後の計画はあるのか。</p>	<p>①小学校単位で地域が実施している防災訓練や防災学習会に参加することができる。日程は港区ホームページに掲載しており、今年度からは大阪メトロの港区内3駅に、そのページにつながるQRコードを掲載したポスターを掲示しているので、そちらを参照のうえ参加いただきたい。また防災ロゲイニングという防災とまち歩きを兼ねたイベントを3月15日に実施予定(当日配付資料にチラシあり)であり、無料で参加可能なので、防災を学びながらまち歩きを楽しんでいただきたい。</p> <p>②地域の防災リーダーと港区役所の間では無線通信訓練を夜間に実施しているが、一般の方が参加可能な夜間の訓練は実施していない。今後、検討していきたい。</p> <p>③現在オンラインの防災講座や防災訓練は実施していない。気軽に参加可能なため、今後、検討していきたい。</p> <p>④地域によって、住民全員を対象にしていたり、防災リーダーや役員のみを対象にしている場合もあり、一概には言えないが、多い時で100人程度が参加していると聞いている。</p> <p>⑤最近では簡易トイレやダンボールベッドを試していただくなど子どもや高齢者でも興味を持ってもらいやすい防災講座や防災訓練を実施している。他にも良いアイデアがあれば、お聞きしたい。</p>	協働まちづくり推進課 (安全安心)
2	<p>【学校跡地の活用について】 小学校や中学校の再編後の跡地においては、以前、山口区長が生野区で実施されたような、カフェなどの活用をぜひ実現してほしい。</p>	(ご意見のみで回答なし)	協働まちづくり推進課(エリア開発推進)

部会で出された主なご意見と当日の回答(令和7年度第2回)

⑥

番号	意見	当日の回答	担当課
安心安全・まちづくり部会			
3	【議題5. みなトクモン:現状と今後の展開についてのご意見】		総務課(総合政策)
	名前は知っているが、具体的な銘柄は知らない。それが区民の標準的な感覚なのではないか。もっとSNSや広報板、掲示板など多方面に渡って広報活動をすべき。夕陽や地名などであれば、例えば小規模なマラソン大会で名所を回るといった企画をやってみれば認知度が上がるのではないか。	素晴らしいものが登録されていてもあまり知られていない現状を踏まえ、まずはみなトクモンを港区内にお住まいの方に知ってもらい、そして自然と発信したくなるような仕掛けやツールを考えていきたい。 ちなみにあなごの加工は明治時代から港区で盛んで、実は昨日「大阪あなご組合」さんが築港中学校であなごの調理を実演し、生徒に試食してもらう授業が行われた。みなトクモンのPRに繋がるこういった取組もSNSで発信するなど、積極的に取り組んでまいる。 皆さんからも引き続きいろんなアイデアをいただければ有難い。	
	どこかへ遊びに出かけて特産品が欲しいとなった際、スーパー等で一般的なものしか売られていなかったらがっかりすることがよくある。港区では、例えばマーケットプレイスなどにあるかもしれないが、どこか一カ所でまとめて売られていたらいいと思う。		
	7つの港区のウリというのは初めて聞いた。まつりは分かるが、夕陽、桜、ひまわり、穴子はピンとこない。ひまわりはどこに咲いているのか、桜の名所はどこか、それが分からないので、例えば各駅に看板などを設置するなど、アピールするものが欲しい。		
道の駅のように、一カ所で手に入る場所があればよい。			
4	【JR弁天町駅について】		協働まちづくり推進課(エリア開発推進)
	JR弁天町駅がリニューアルされて改札が中央に集約されたため、磯路地域や弁天地域の方から、とても遠くなって不便になったという声をよく聞く。地下道にエレベーターが設置され、高齢者の方などはアクセスが便利になった面もあるが、万博期間中のように南北の改札を開けてもらうことができないか、区からJRへ働きかけてもらいたい。	大阪市弁天町地区交通バリアフリー基本構想というものがあり、今年度、その改正のため、近隣の地域や関連する団体の代表者の方と何度かワークショップを開催しながらとりまとめを行っている。そのワークショップの中で、同様のご意見を頂戴している。その場には、JR西日本が同席しており、しっかりとご意見を受け止めていただいているため、すぐにというわけではないが、将来的に何らかの改善がされるのではないかと思います。	
	広場がある側の外から上がる階段のところにエスカレーターがない。JRと地下鉄の乗換は便利になったが、JRのみ使用する方には不便になったと思う。	地上とホームの往来については、JR西日本から同じくワークショップにおいて、改札内にあるエスカレーター及びエレベーターを使用していただきたいとの回答をされていた。	
5	【ベイトワーとJR弁天町駅間の連絡通路について】 ベイトワー側からJR弁天町駅へ続く連絡通路において、その途中の一部分が、ちょっとした間だけアーケードがない箇所がある。そこは歩道なので、管轄はJRでもベイトワーでもないと思うが、観光客等がキャリーケースを引いたりする時に雨に濡れてしまうのが不便と思うので、どうにかできないか。	現在、国土交通省大阪国道事務所において、弁天町駅前の交差点南西側で地下道へ通じるエレベーターの設置工事を実施しているが、その施工業者である(株)ハンシン建設により、ご指摘箇所の屋根の設置工事を進めさせる予定と聞いている。今はそのために道路上に建築物を設置する際に必要な関係機関との協議を行っている最中ということなので、もうしばらくお待ちいただきたい。	協働まちづくり推進課(エリア開発推進)

部会が出された主なご意見と当日の回答(令和7年度第2回)

⑥

番号	意見	当日の回答	担当課
こども青少年部会			
1	<p>【学校選択制について】</p> <p>学校選択制について、制度ができた当時と状況が変わってきているので、小学校で選択就学した児童は、同じ学区の中学校へ進む際に継続通学として優先を検討してほしい。</p> <p>小学校選択の際は、子どもは未だ幼いので、保護者が選択することになるが、中学校進学の際に優先順位がないと子どもが振り回されることになる。子どもが辛い思いをしないように、同じ学区の中学校へ進む際に継続通学として優先を検討してほしい。</p> <p>学校選択制自体は良い制度であり、選ばれる学校になるために各学校が特色や取組を積極的に発信し、自己PRを強化して努力していくことが重要だと思う。</p> <p>当地域では本来の進学先である市岡東中ではなく、市岡中に流れる傾向があり、その理由は部活動の魅力にある。各校が魅力づくりをしないと、今後さらに学校選択制による差が広がるのではと懸念している。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、検討します。</p> <p>港区では一部の部活動で「拠点校」を設け、他校の生徒でも参加できる仕組みを今年度から開始している。したがって、現状では学校選択だけが部活動参加の手段ではなくなりつつある。</p>	<p>協働まちづくり推進課 (教育・人権啓発)</p>
2	<p>【こどものスマホ利用について】</p> <p>「スマホサミット」について、私は子どもが小6のとき、親子で参加した経験がある。スマホは持たせるとやめれず、子どもが部屋で隠れて使ったり寝たふりして使ったりしてしまい、親の管理が難しいと感じている。そのため、できれば中学3年生まではガラケーにしてほしいと思う。法律で規制してほしいぐらいです。これからも色々と考えて意見を出していきたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。 引き続き、港区における子どものスマホ対策にご協力をお願いします。</p>	